

ふじみ衛生組合新ごみ処理施設建設ニュース

v o L 3 3 平成23年 6月発行

ふじみ衛生組合（組織市：三鷹市・調布市）

今月号のニュースでは、第14回地元協議会の協議内容、建設工事見学会の結果及び現在までの新ごみ処理施設建設工事の進捗状況等についてお知らせします。

地元協議会について

● 第14回地元協議会（平成23年6月17日開催）での主な協議内容

△ 工事協定（既締結）に基づく協議

- ・ 大型クレーン（150t）の組み立て作業のため、平成23年7月17日（日）午前8時から午後9時まで作業を行います。
- ・ 土曜日に限り工事車両の出入り口として、東八道路側東側「不燃物処理資源化施設」の出入り口（Dゲート）も使用します。

※ 作業にあたって、騒音・振動が極力低くなるよう努め、車両の搬出入には保安員を配置し交通安全に十分配慮します。

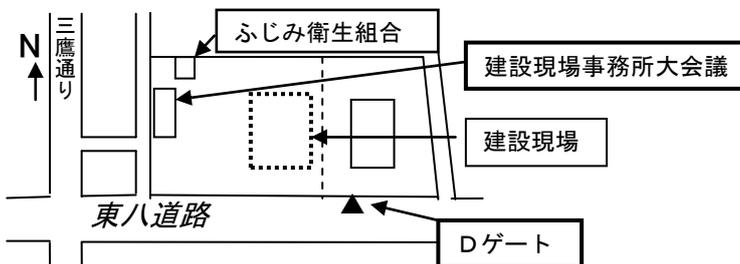
結果：上記工事協定に関する協議内容は、地元協議会で了承されました。

△ 環境保全に関する協定についての協議

- ・ 不燃物処理資源化施設の処理状況、平成23年度の改修工事等について
- ・ ごみ処理の広域相互支援等ごみ受け入れについて

△ 地元協議会会長の交代

地元協議会会長が、増田雅則氏（調布市）から石坂卓也氏（調布市）に代わりました。



● 地元協議会次回開催日程

第15回地元協議会

- ・ 日時：平成23年7月29日（金） 午後6時30分～午後8時30分
- ・ 場所：新ごみ処理施設建設工事現場事務所大会議室

建設工事見学会の結果について

● 第1回ふじみ衛生組合新ごみ処理施設建設工事見学会の結果について

開催日：平成23年6月5日（日） 参加者数：63名

△ 主な質問意見

- ・ 工事費はいくらですか：101億6400万円（税込み）
- ・ 発電量はいくらですか：発電約4430万kWh/年、
うち売電約3000万kWh./年（約3億円）を予定
- ・ 耐震性は：最新の耐震構造で設計しており、東日本大震災程度の揺れにも耐える構造
- ・ 緑地のビオトープ（自然を残し野生動植物が生息する空間）の設計に専門家の意見を

建設工事進捗状況

建設現場ではタワークレーンを立ち上げ、ごみピット、1階、煙突のコンクリート打設を行っています。工事の進捗率は約12%です。

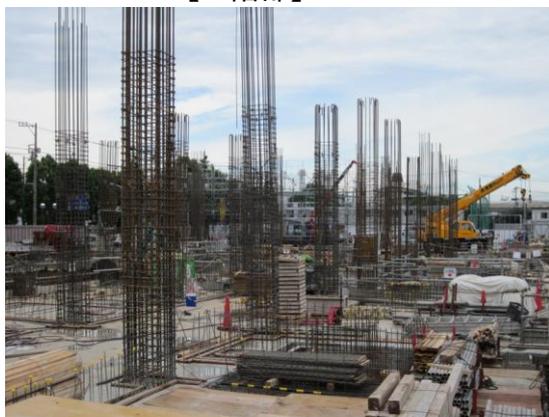
【工事現場全景】

撮影日：平成23年6月21日



【1階部】

【ごみピット部】



問い合わせ：ふじみ衛生組合 新施設建設準備室 担当：田中、深井

電話 042-490-5374

fax 042-482-5491

ふじみホームページ <http://www.fujimieiseikumiai.jp>